

農村の生き物たち

アオサギは、農村地域で普通に見られる鳥の中では最大級で、翼を広げた時の幅は160cmにもなります¹⁾。水田や水路、河川などの水辺で、魚やカエルといった小動物を捕まえたり、休憩したりする姿をよく見かけます。人が近づくと飛び立ってしまうことも多く、警戒心が比較的に強いようです。

灰色の背中が特徴的なサギで、青灰色（灰色がかった青色。図鑑によっては灰青色。）が「蒼鷺」という名前の由来です²⁾³⁾（蒼には、鮮やかでない青い色も含まれるそうです²⁾）。

ほ場整備が行なわれた水田地域には、サギ類があまり飛来しないという報告があります⁴⁾。生きものの豊かな水田を守ることが、餌場の確保につながります。

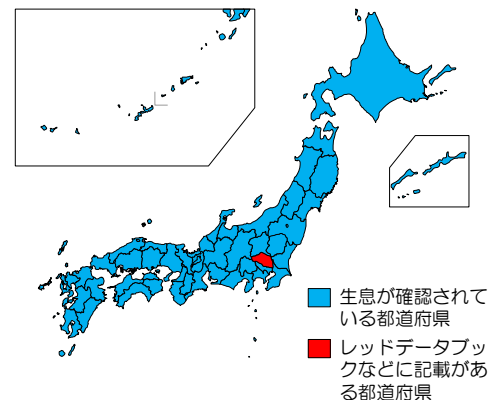
鳥綱 ペリカン目 サギ科 アオサギ属

アオサギ *Ardea cinerea*

青鷺、蒼鷺



生息分布



環境省レッドリストの記載： —

特徴

- 全長は約90cmで、広げた翼の幅は160cm¹⁾。
- 頭は白く、額の両側から頭の後ろにつながる黒い帯が特徴的。体の上面は青灰色¹⁾。翼は青灰色と黒のツートンカラー。嘴（くちばし）は黄色¹⁾。
- 水田や水路などの水辺で餌を捕ります。
- 国内の多くの地域では一年中みられ、本州～九州で繁殖します¹⁾。



飛んでいる個体は翼のツートンカラーが明瞭



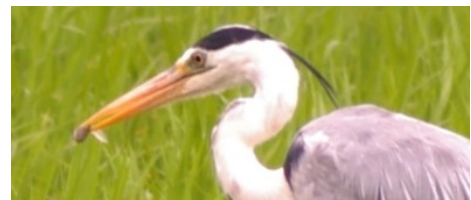
複数種のサギが集まる集団繁殖地

近縁種

- サギ類のうちダイサギやムラサキサギは近縁とされています⁵⁾、体の色は大きく異なります¹⁾。

生態系における位置付け

- 大型の捕食者で、魚やカエルなどを食べます。



オタマジャクシを捕まえたアオサギ

人との関わり

- 害虫を食べます。
- 大きな集団繁殖地（コロニー）の近くでは、鳴き声による騒音や、糞の悪臭が問題になることがあります。

保全に向けて

- 生きものの豊かな水田を守ることが、餌場の確保につながります。

参考 1)高野伸二(1995):フィールドガイド日本の野鳥 増補版, 日本野鳥の会, pp112-115. 2)安部直哉(2008):山溪名前図鑑 野鳥の名前, pp10-11. 3)菅原浩・柿沢亮三(2005):図説 鳥名の由来辞典, pp4-5. 4)成末雅恵・内田博(1993):土地改良とサギ類の退行, Strix 12, pp121-130. 5)日本鳥学会(2012):日本鳥類目録 改訂第7版.

(水理工学研究領域 水域環境ユニット 渡部 恵司)